



# もろすみともなり 両角友成県議会報告

## 令和2年度一般会計決算に対し反対討論を行いました



本会議では、党県議団を代表して、令和2年度一般会計決算に、反対討論を行いました。

具体的な事業では、災害復旧対策でこれまでのダム依存から流域全体の総合的な治水対策へと転換が進められました。令和元年東日本台風で被災した長野市長沼と塩崎の千曲川の堤防が、被覆型に改良されたことは歓迎するものです。

また、精神障がい者2級の医療費補助の対象が全診療科へと、身体、知的障がい者と同様に拡大されたことは、長年にわたる当事者団体の要望に応えるものでした。

一方、新型コロナウイルス感染症の対策で、第3波を前に大規模なPCR検査の体制を実施することが求められましたが、不十分な体制にとどまりました。

リニア中央新幹線工事は、トンネル工事の残土埋め立て計画地や新駅予定地の住民の、安全性や説明責任への不安や疑問が置き去りにされました。

大北森林組合の補助金不正受給は、県が適正な業務を行っていない事にも大きな要因があり、損害賠償の請求自体が妥当だったのか問われています。

高校再編は、地域協議会などで再編・整備計画第1次に対して、県民の不安や疑問にこたえていないとの声が上がっており、再編整備の進め方が問われました。

このように、総じて令和2年度一般会計決算は、県民の福祉向上という地方自治の「本旨」にたらず、課題を多く残しており、認定できない旨もうしあげ、討論としました。

採決の結果は認定に賛成が多数で私どもの思いは通りませんでした。

## 県民文化健康福祉委員会報告

### 介護保険料滞納で 差し押さえ最多

**両角：**私は言い続けていますが、やはり国にせめて4分の1ではなく、措置のころのように、半分負担を求めるべきでは。  
**答弁：**国の負担が、すぐに25%から50%には難しいが、増やすよう国に求め続けている。



### コロナ禍での給付金・支援金について 「病院はワンチーム」

**両角：**コロナ禍での病院の営みは、ドクター・看護師だけでなく、薬剤師のことは、以前取り上げたが、防護服をきてリハビリをする理学療法士や検査技師、栄養士、医療事務等々。医療現場に分断を持ち込んでほしくない。給付金・支援金等は病院に一括で支給し配分は病院に任せる方法が良いのではないかと。  
**答弁：**国もその方向性を示しており、県もそのようにしたい。

### 松本市の動物虐待事件

——全国的に衝撃を与えた事件。`動物がもうけの対象、`お金になればよい、という感覚か——  
県の説明では、「昨年度までは、県松本保健所が監督・指導する立場にあり、当時の対応が適正であったかどうか、現在、健康福祉部内で検証チームを設置し、検証を行っている。検証の過程において、十分な対応でなかったと判明

した場合は、その改善を図る。動物の適正飼養管理について、対応の強化と再発防止に努めていく」とのことでした。

**両角：**中核都市となった松本市に業務が移管される本年、3月末まで、県としても9回の立ち入り調査をしているが、この時点の報告書からして、どんな状況が記載されているのか。  
**答弁：**異臭がする。従業員が足りない。等の指導した内容が書かれている。  
**両角：**なぜ防げなかったか曖昧にしてはいけない。検証チームに今からでも識者の助言を聞くだけでなく入ってもらうことも必要。抜き打ち検査、警察との連携を。

フランスでは、2024年までにペットショップでの犬と猫の販売を禁止する法律が成立しています。我々も考えるときかと思えます。今回は中

間報告、2月定例会でなぜ防げなかったか、真相究明の報告をするよう求めました。

そのほか▶私立学校の生理用品設置▶少子化対策▶子ども食堂に対する食料支援▶保育園等の耐震▶保健所の体制について質問をしました。

### 信州医療センター視察

(11月2日・写真下)

コロナ関連で「病床確保料が無かったら病院としては大変。経営が成り立たない」との実態を報告し、県の支援を求めました。



### 質問を終えて

県民生活に直結する課題が多い委員会です。これからも、県民目線でしっかり取り組んでまいります。

